【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和２年度学校評価 計画

学校名	佐賀市立大和中学校
1　前年度 評価結果の概要	・いじめ問題や不登校生徒への対応、特別支援教育充実に向けての取り組みが、まだ不十分である。 ・基礎・基本の定着と学力向上に向けて、教職員の授業改善への意識を高める必要がある。
2　学校教育目標	「思いやりの心とチャレンジ精神に満ちあふれた生徒の育成」 ＜校訓＞『大和協力』（やる気・まごころ・ともに響き合い高め合う）
3　本年度の重点目標	①心の教育・人権教育の推進　②学力の向上　③特別支援教育の充実　④業務改善・教職員の働き方改革の推進

4　重点取組内容・成果指標

（1）共通評価項目

評価項目	重点取組：取組内容	重点取組：成果指標（数値目標）	具体的取組	主な担当者
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	・授業改善に向けた校内研修等により、取り組みの促進を図る。	・学力向上対策ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ ・研究主任
	○基礎・基本の定着に向けた、わかる授業の実践	○「授業がわかる」「授業にやる気がある」という生徒の肯定的評価を80%以上とする。	・教育センターの講座授業を活用し、教職員の指導力の向上を図る。	・学力向上対策ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ ・研究主任
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「命を大切にする心や思いやりの心を育てようとしている」について肯定的評価をした生徒を80%以上とする。	・道徳科の授業づくりのに関する校内研修を実施する。 ・人権・同和教育の視点に基づいた授業実践を行う。	・道徳教育推進教師 ・人権･同和教育担当者
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○「学校は、いじめなどのない楽しい学校をつくろうとしている」という肯定的評価を生徒・保護者ともに80%以上とする。	・毎月、生活アンケートを実施し、生徒の実態を把握し、未然防止に努める。	・生徒指導主事 ・生活部
	◎生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	○「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした生徒80%以上とする。	・教育活動全般（道徳の授業や部活動も含め）を通して、自ら夢や目標について考えさせる時間を確保する。	・進路指導主事 ・道徳教育推進教師
●健康・体つくり	❹「安全に関する資質・能力の育成」	❹生徒の交通事故を0（ゼロ）にする	・毎朝の教職員の輪番による交通安全指導を継続して実施する。 ・登下校時の自転車の交通指導を、地域やPTA等に協力を依頼する。	・安全教育担当・交通安全部
	○部活動の充実	○「部活動は充実した活動になっているか」という生徒の肯定的評価を80%以上とする。	・「部活動の活動方針」に沿った活動を行う。 ・適切な指導を進め、生徒の自主性・自立性を育成し、体力の向上を図る。	・部活動担当 ・部活動顧問者会
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・定時退勤日の設定と徹底を図る。 ・タイムカード方式の業務記録票で勤務時間の可視化と適正化を図る。 ・部活動休養日の設定と徹底を図る。	・管理職
	○（学校独自重点取組・任意）	○（学校独自成果指標・任意）	・	

（2）本年度重点的に取り組む独自評価項目

評価項目	重点取組：重点取組内容	重点取組：成果指標（数値目標）	具体的取組	主な担当者
○特別支援教育の充実	○教員の専門性と意識の向上	○特別支援教育に関する専門性が向上した教員80%以上とする。	・特別支援教育に関する校内研修会を実施する。 ・定期的に特別支援教育委員会を開催する。 ・巡回相談やその他専門機関と連携する。	・特別支援教育ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ
○不登校生徒への支援体制の充実	○不登校生徒への個に応じた支援体制の充実	○不登校生徒を全校生徒の5%以下にする。 ○「先生たちは相談事や悩みに適切に応じてくれる」という生徒の肯定的評価を80%以上とする。	・不登校対策に関する校内研修会を実施する。 ・定期的に教育相談部会を開催する。 ・SC、SSW、学習支援員、サポート相談員と連携し、当該生徒や家庭へ適切な働きかけをする。	・教育相談ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ
○	○（学校独自重点取組・任意）	○（学校独自成果指標・任意）	・	

●･･･県共通　○･･･学校独自　◎･･･志を高める教育

5　総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・